

甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2021年11月発行

みなさん、こんにちは。朝夕の寒い日が段々と多くなってきましたので体調管理が難しい時期となりました。感染状況が沈静化しつつありますが、冬場に向けて再々拡大となるのではないかと、いまだ不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。また、当面の間は「コロナ禍」での生活を前提として、マスクや消毒などの基本的な感染防止対策とともに、体調維持のためにも運動や食事等にも十分にお気をつけください。

右画像は、先月の街頭での演説の様子です。「7のつく日」のあいさつ行動をはじめ、今後とも機会あるごとに、さまざまな場で、みなさまの笑顔あふれる日々や平和につながることを訴えていきます。自分に今できることにこれからも積極的に取り組みます。



さて、これまでも訴えてきましたが・・・感染状況が落ち着いてきた今だからこそ、

- ①「誰でも希望すれば何度でも受けられる PCR 検査体制の確立」
 - ②「希望される方へのワクチン接種(3回目も含めて)」と「副反応等の正確な情報の発信」
 - ③「臨時の病床確保(人材確保も含めて)や療養施設の確保(酸素ステーション等も含めて)」
- などの対策に向けての事前準備が必要です。もちろんこれまでの検証を踏まえて！

衆議院議員選挙においても感染症対策が多くの場合で論議されました。その後の臨時国会などで政府から新たな対策が提起されてきましたので、与野党とも今後を見据えた建設的な論戦から、より実効性のある対策を構築して欲しいと願っています。

これまで先進的な取り組みをしている地方自治体の事例が数多く報告されています。また野党をはじめ各種専門機関からも数々の具体的な政策が提起されています。臨時国会だけでなく、その後の通常国会などを通して、これまでの政策を真摯に検証し、引き続き「コロナ禍」にどのように取り組んでいくのか、国民の命と暮らしを守っていくことを第一義に議論を積み重ねて、長期的な視点ももった政策の実現を願っています。

県や市独自の取り組み等については予算面からも限界があります。国民の命と暮らしを守るために国の予算を今こそ積極的に投入する・・・この当たり前のことを私自身もさまざまな場で訴えていきます。

なお、**大分市には独自の「抗原検査センター」**が大分駅北口広場に設置されています。これまでかなり有効に機能し、感染拡大防止に成果をあげていると感じています。来年の3月末まで継続することが決まっています。どなたでも短時間で検査を受けることができますのでご活用下さい。お買い物等のレシートを提示すれば検査可能です。感染再拡大時に対応できるように、別地域での検査センターの新規設置も要望しています。

「ワクチン接種」や「抗原検査キット」等については、さまざまなご意見があると思います。先の見通せない「コロナ禍」ではありますが、少しでも安心安全な生活をおくれるように、子どもたちと学校現場の笑顔を守っていけるように、私自身も調査研究、そして提案等をこれからも積極的に行っていきます。どうぞご意見、ご要望をお聞かせください。

抗原検査キットについては、8月下旬の2学期スタートに向けて、**教育委員会に独自提案**として、いくつかの点を要望しました。

☆抗原検査キットの積極的な活用案・提案の続き

○県から配布済みの抗原検査キット+新たに市独自で追加配布することで、

- ・積極的な活用が学校独自ででき、授業内容や活動範囲の拡大を図ることにつながる。
- ・希望する教職員の定期的な検査で、その方を保護するだけでなく、子どもたちを守ることにつながる。
- ・外部講師や地域からの人材の受け入れ体制をつくることができる。読み聞かせや歯の保健指導など休止している外部との交流活動の再開を検討することができる。
- ・学校の要望(修学旅行、体験学習などの学校行事等)に応じた柔軟な活用で、安心安全が高まる。

【甲斐の思い】 現在「ワクチン接種」について国の方針としては、対象年齢が12歳以上となっています。しかしながら、他国や製薬会社などの方針や見解の中で、接種対象年齢の引き下げが報告されています。治験データも充分ではありませんし、これまでもかなりのリスクが懸念されている低年齢層へのワクチン接種は、安易に導入すべきではありません。綿密なデータ分析と専門家の意見等を踏まえた慎重な論議が必要です。また現段階でも12歳以上の生徒等への接種は、学校での集団接種ではなく、保護者同伴での個別接種、そして希望する生徒だけの接種にとどめることが大前提です。

【通学路の安全対策について】



「えがお 19号」に概要を取り上げていますが、ここでは、今後の具体的な対策についていくつかご紹介します。①上記左側画像・・・高江中央1丁目バス停と高江トンネル間の交差点・下り路線側(トンネルを背にして左側)にガードパイプを設置します。②上記右側画像・・・つつじヶ丘1号線の1丁目橋北側交差点にボードを設置します。ボードとは、自動車の進入を阻止するための杭のことです。このほかにも大分市内で合計146箇所について対策を協議しています。今後の工事等の進捗をお待ちください。調査中のところも数多くありますので、引き続き安全対策が講じられるように注視します。